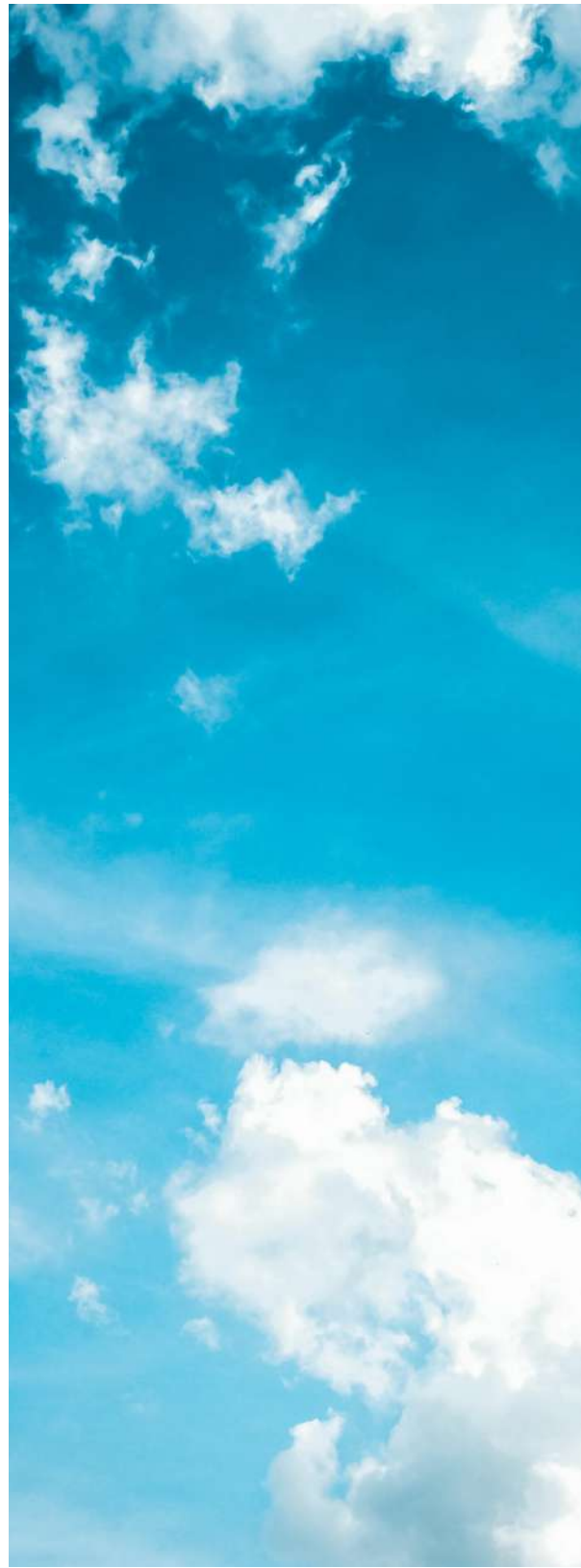


広域圏でこう描こう

～こおりやま広域圏 婚活×ライフデザイン支援事業～

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2024

1 班



1. 自己紹介と研究テーマ
2. 現状と課題
3. 視察結果
4. 提案内容
5. 効果

01

自己紹介と
研究テーマ

01

自己紹介と研究テーマ

班員紹介

(班 長)



見 越 美 聡

(郡 山 市)



(副班長)



加 藤 晴

花 (猪苗代町)



(班 員)



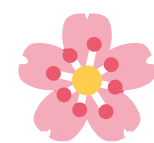
佐 藤 亮

平 (大 玉 村)



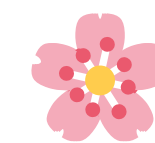
佐久間 雄

大 (小 野 町)



横 山 大

成 (田 村 市)



(班担当)



風 張 達

也 (郡 山 市)





01 自己紹介と研究テーマ

【研究テーマ】

広域圏でこう描こう👉

～こおりやま広域圏 婚活×ライフデザイン支援事業～



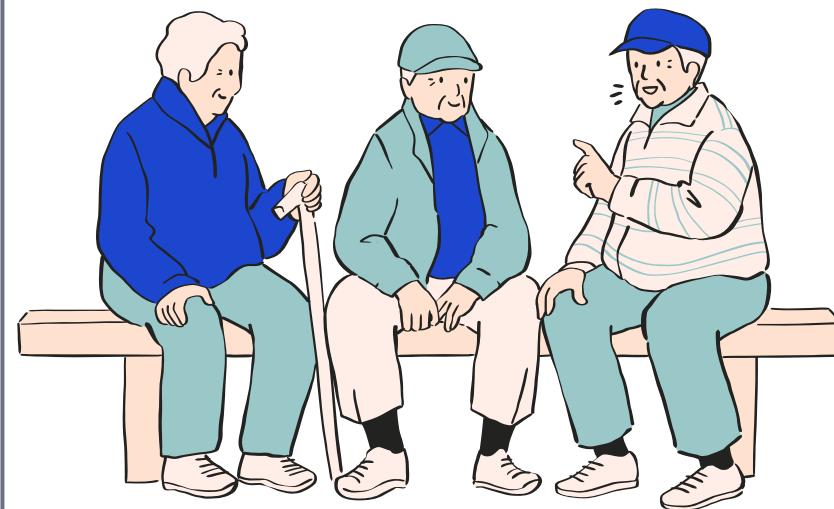
02 | 現状と課題

02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

圏域の自然動態を見ると、少子高齢化の進行により自然減が増加。2013 年に減少幅が一時弱まったものの、2020 年から減少傾向が拡大している。

(単位: 人)													
区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
出生数	5,623	5,366	4,819	4,944	4,953	4,940	4,773	4,596	4,518	4,094	4,057	3,809	3,475
死亡数	6,888	7,360	7,134	7,022	7,145	7,458	7,446	7,623	7,625	7,599	7,489	7,844	8,369
自然動態増減数	-1,265	-1,994	-2,315	-2,078	-2,192	-2,518	-2,673	-3,027	-3,107	-3,505	-3,432	-4,035	-4,894

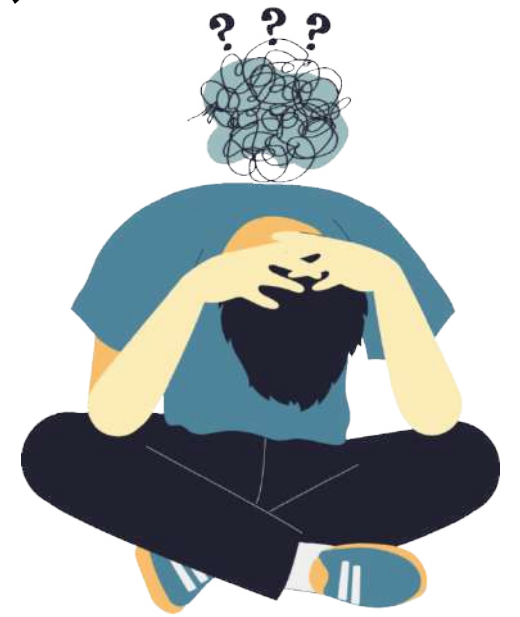
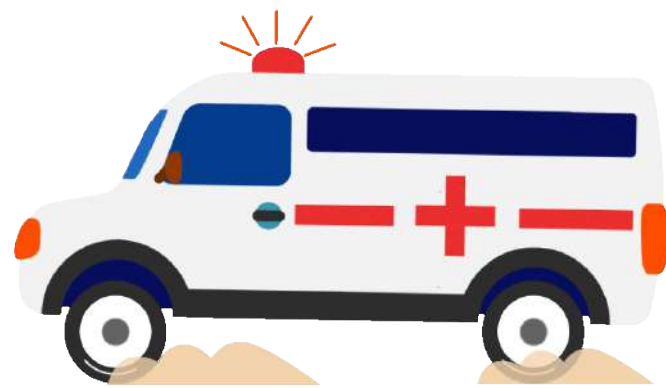


02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

Q.人口減少により生じる課題とは？

- 1.人手不足による地域医療福祉体制の崩壊
- 2.社会保障費等の増加による財政構造の変化
- 3.地域文化コミュニティ活動等の担い手減少、
地域活力の低下



02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

**Q.なぜこおりやま広域圏の若い世代で
人口流出・転出超過となっているのか？**

- 若い世代が進学や就職のため、一旦県外に転出すると...
⇒地元に帰りたくても帰れない（仕事が無い）
就業機会：地方 < 首都圏
- 圏域内で出逢いの機会が少ない
⇒出逢いの母数が少ない 等



02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

Q.人口減少の具体的な原因は？

- 1. 少子高齢化の進展..... 出生率の低下・高齢化の加速
- 2. 首都圏への人口流出..... 就業機会の減少・都会への憧れ
- 3. 地域社会の活力低下..... コミュニティの希薄化 等



02

現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

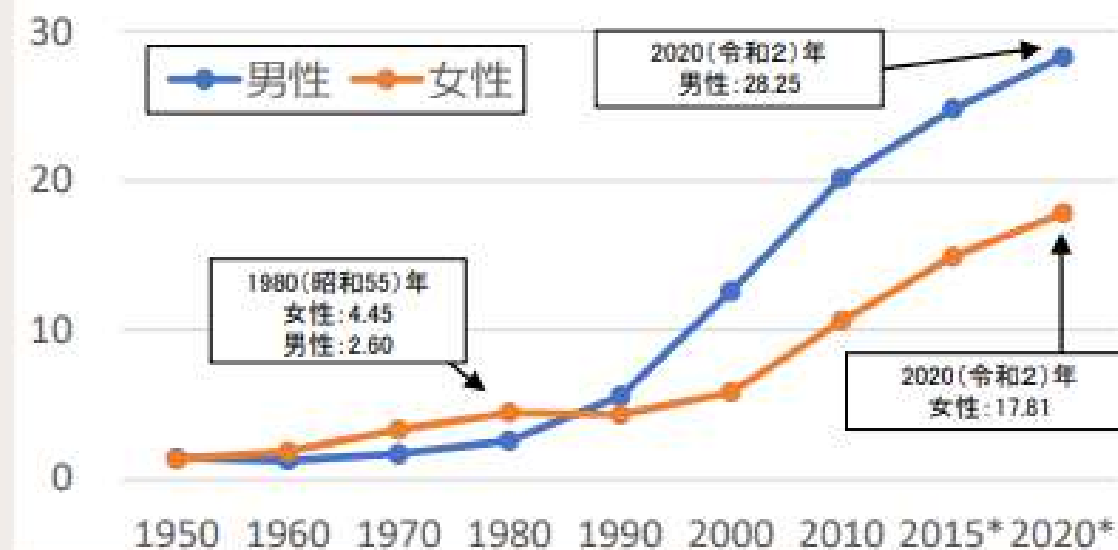
こどもまんが
こども家庭庁

未婚率と夫婦の子ども数の状況

- 合計特殊出生率は、**有配偶率**と**有配偶者出生率**に分解できる。(☆)
- 50歳時の未婚割合は、1980年に男性2.60%、女性4.45%であったが、直近の2020年には男性28.25%、女性17.81%に上昇している。この傾向が続けば、いずれ、男性で3割近く、女性で2割近くになると推計されている。
- 夫婦の完結出生児数は、1970年代から2002年まで2.2人前後で安定的に推移していたが、2005年から減少傾向となり、直近の2021年には過去最低である1.90人になった。

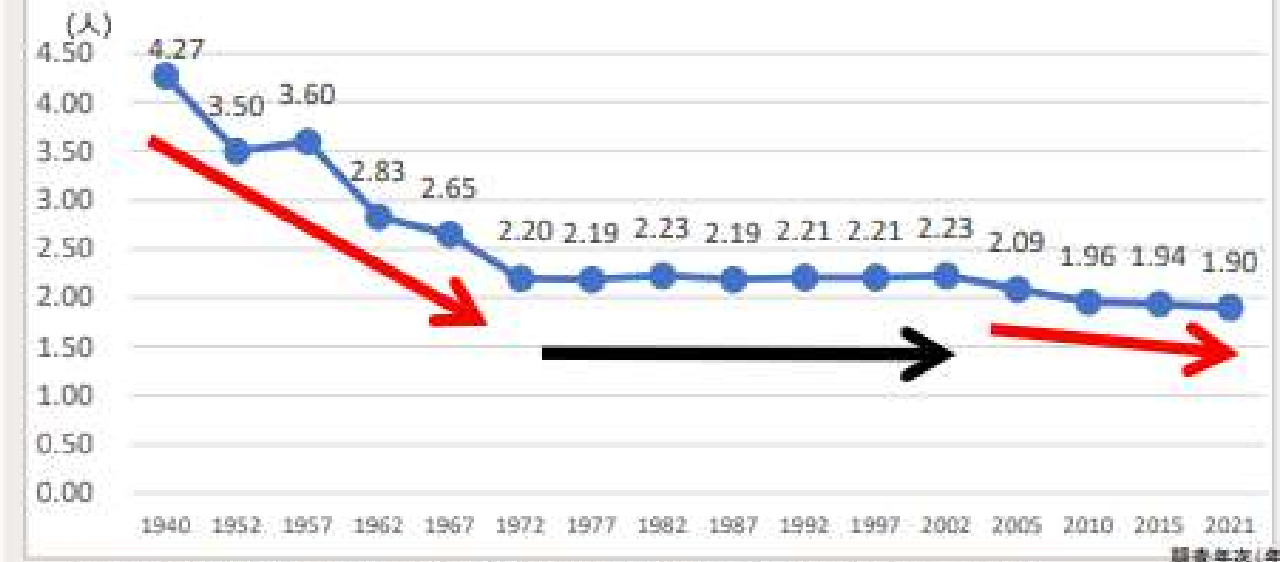
⇒「結婚の希望の実現」と「希望どおりの人数の出産・子育ての実現」に向けた対策が必要

○50歳時の未婚割合の推移



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2023改訂版)」。
注: 総務省統計局「国勢調査報告」により算出。45～49歳と50～54歳未婚率の平均値。
注: * 配偶関係不詳補完結果に基づく。

○夫婦の完結出生児数



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査(夫婦調査)」(2021年)。
注: 対象は結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦(出生子供数不詳を除く)。各調査の年は調査を実施した年である。
注: 第15回以前は妻の調査時年齢50歳未満、第16回は妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の夫婦について集計。

※ こども家庭庁HP「結婚に関する現状と課題」より抜粋

02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

「データで読み解く人口減少
～統計的に有効な自治体少子化政策への転換を～」



株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部
人口動態シニアリサーチャー 天野 馨南子氏

- ・初婚同士夫婦の子どもの数はいまだに1.9程度の水準を保ち、
この20年程度大きな減少はない。

⇒ **カップル数が減ったことが、そのまま出生数の減少に
直結しているのが今の日本の少子化の原因とされている。**



02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

【現状】18～34歳未婚男女の **8割以上「いずれ結婚するつもり」**

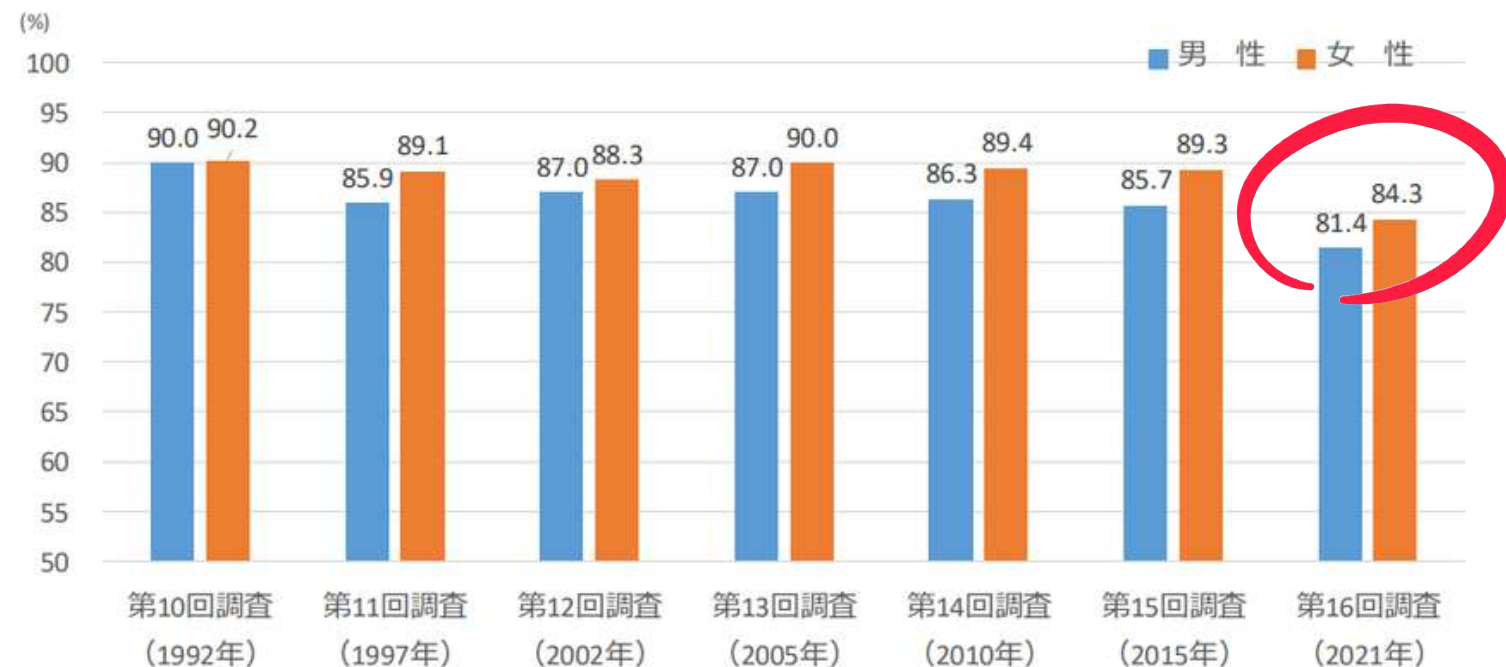
- 出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

⇒Q.未婚の理由は？

A.「**適当な相手にめぐりあわない・そもそも出逢いの機会がない**」

こども家庭庁 未婚者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている未婚者（18歳～34歳）の割合は、9割程度で安定的に推移してきたが、最新の調査では、**未婚男性は81.4%、未婚女性は84.3%**となった。

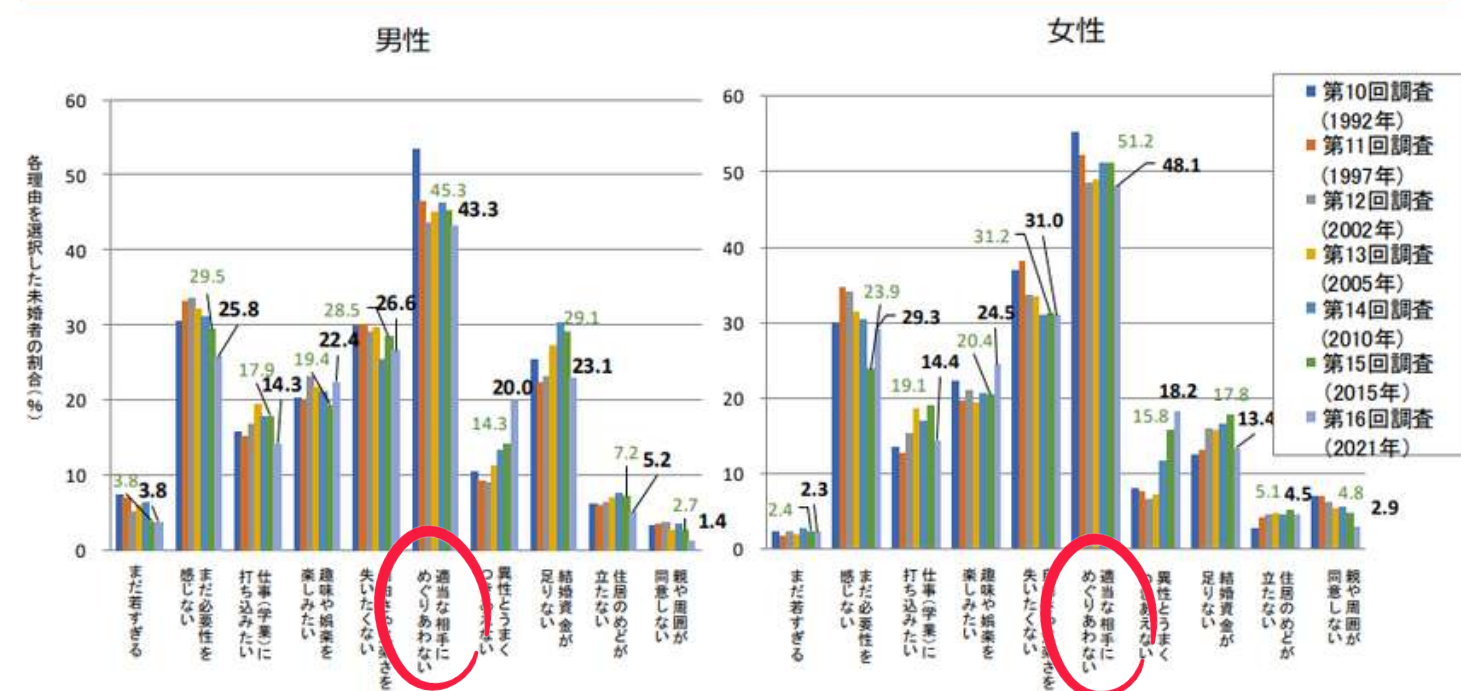


出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

※18歳～34歳対象、設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか」
(1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない)について、1を回答した割合

こども家庭庁 若者が結婚しない理由

- 25～34歳の未婚者に独身でいる理由を尋ねると、男女ともに「**適当な相手にめぐりあわない**」が **最も多い**（男性43.3%、女性48.1%）。次いで「自由さや気楽さを失いたくない」「まだ必要性を感じない」が多い。
- 「**異性とうまくつき合えないから**」の選択率は、**2005年（第13回）調査以降、上昇している**。その他、最新の調査では「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」が男女ともに増加した。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」（独身者調査）

※対象は、25～34歳の未婚者。未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由（3つまで選択可）としてあげているかを示す。
グラフ上の数値は第16回調査の結果。

02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

Q. 相手を探すために起こした行動は？

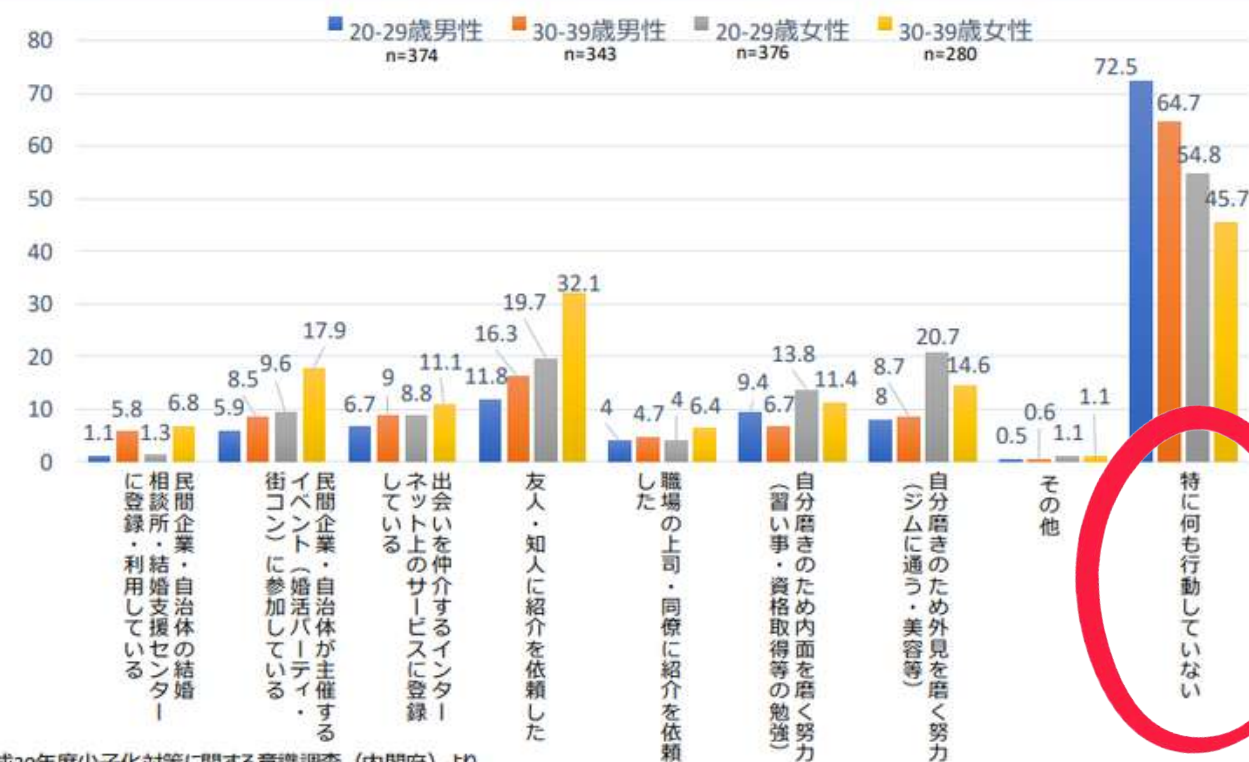
⇒ A. **特に何も行動していない**

- 出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

子ども家庭庁 相手を探すために起こした行動（複数回答）

●男女とも「特に何も行動を起こしていない」が最も高くなっている。

●性別では、女性で「友人・知人に紹介を依頼した」が20～29歳で19.7%、30～39歳で32.1%、「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が20～29歳で20.7%、30～39歳で14.6%、「自分磨きのため、内面を磨く努力（例：習い事、資格取得等の勉強）をしている」が20～29歳で13.8%、30～39歳で11.4%、「民間企業・自治体が主催するイベント（婚活パーティー、街コン等）に参加している」が20～29歳で9.6%、30～39歳で17.9%と男性と比べて高くなっている。



この層の行動を促す
**出逢いの機会の
創出が必要**



02 現状と課題

人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

事業名 (78)	婚活支援事業						SDGs		8 働きがいも 経済成長も	10 人や国の平等 もなくとも	11 住み続けられる まちづくりを
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	二本松市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	磐梯町		
	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	猪苗代町	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町			
	○	○	○	○	○	○	○	○			
事業概要	圏域で連携して出会いを創出するイベントを開催する。 ○自治体間の人事交流を通じた出会いの場の創出、婚活イベントの開催 ○民間企業への広域圏を対象とした婚活イベントの提案 等										
連携効果	「出会いの場」の創出・拡大が図られ、結婚に向けた機会の増加が期待される。										
事業費 (千円)	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	計					
	—	—	—	—	—	—					
活用する国県 補助事業等											
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。									
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。									
成果指標 (KPI)	指標		成果指標の設定理由		現状値 (2022 年度)		目標値 (2028 年度)				
	イベント開催数		「出会いの場」の創出・拡大を図るため		—		2 回				

- ・ ふくしま結婚・子育て応援センター「はぴ福なび」登録料補助
- ・ 結婚新生活支援事業 等
- 各市町村毎の取組はあるが...



02 現状と課題

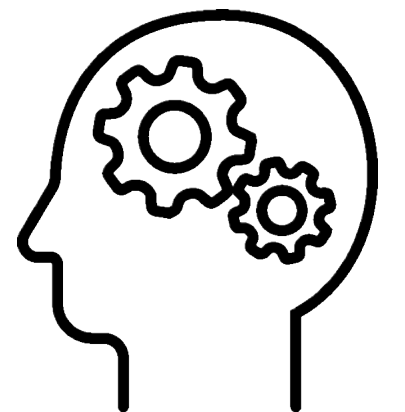
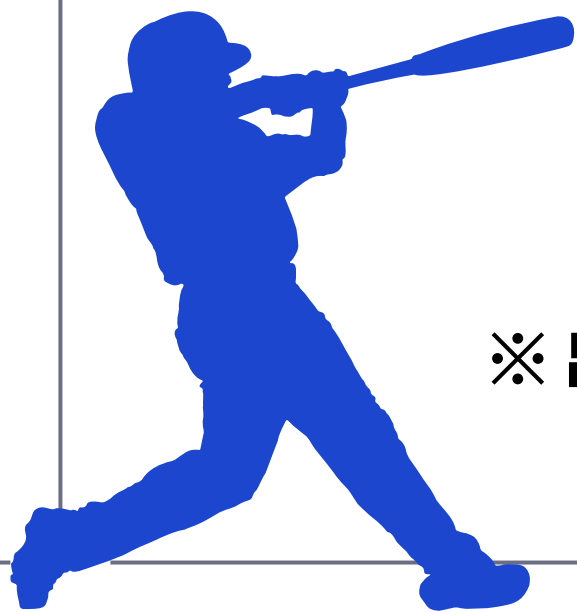
人口流出を防ぎ、移住定住を促進するには

Q. ライフデザインとは？

- ・就職や結婚、出産などのライフイベントや、「将来こうなりたい」という思いを、いつどのように実現するかを考える「**人生設計**」のこと。

→例：世界で活躍する大谷翔平選手も高校生のときに将来の目標を達成するために「マンドラチャート」と言われる目標達成シートを使って、計画的に**人生設計**をした。

※出典：株式会社IBJ「ライフデザインを考える冊子」
P.2「ライフデザインについて知ろう」



03

視察結果

03 視 察 結 果 ①



視察先

株式会社IBJ

- ・ 年間2,500本の婚活イベントを実施
- ・ 12,000組が成婚（令和5年度）
- ・ 経営理念「ご縁がある皆様を幸せにする」

視察目的

婚活イベント事業、ライフデザイン事業について

視察内容

①婚活イベントについて

- ・ イベント開催に必要な条件
- ・ IBJのイベントについて

②ライフデザインについて

- ・ ライフデザインの現状
- ・ 若い世代のライフデザイン

03 視 察 結 果 ②



視察先

スリール株式会社

・京都府の「仕事と育児の両立プログラム」を受託

視察目的

ライフデザイン事業（ワークライフインターン）について

視察内容

① ワークライフインターン

・ワークライフインターンとは

・実施内容

② 行政に求めること・アドバイス

・ライフデザインを実施したその後について

・思い込みをなくす取り組み

03 視察結果③



視察先

京都府庁 健康福祉部 こども・子育て支援室
母子保健係・子育て環境推進係

視察目的

婚活支援事業、ライフデザイン事業について

視察内容

①婚活支援事業

- ・きょうと婚活応援センター「AIマッチングシステム」について
- ・イベント事例

②ライフデザイン事業

- ・プレコンセプションケアとライフデザインの連携
- ・受託先に求めること

03 Z o o m 視 察 結 果 ①



視察内容

福島県庁 こども・青少年政策課
ふくしま結婚子育て応援センター

視察目的

県内の結婚支援事業について

視察内容

- ① 「はぴ福なび」について
 - ・ 実施した経緯
 - ・ 施策のポイント
- ② 「はぴ福なび」の実績
 - ・ 最近の利用者の傾向
 - ・ 需要の掘り起こし

03 Zoom 視察結果 ②

視察内容

秋田県大仙市役所 こども未来部
子育て支援課・子育て政策課

視察目的

ペアーズと「出会いの機会創出に関する連携協定」
締結について

視察内容

- ① 連携協定について
 - ・ 協定締結した経緯
 - ・ 参考自治体
- ② 締結のため苦勞したこと・今後の課題
 - ・ 協定を結ぶための理由付け
 - ・ 具体的な取り組み

03 Zoom 視察結果 ③



視察先

株式会社エウレカ

視察目的

マッチングアプリ「ペアーズ」について

視察内容

- ① ペアーズについて
 - ・ ペアーズの特徴
 - ・ 当時苦勞したこと
- ② 最近の事例
 - ・ 婚活の傾向
 - ・ 自治体と協定締結した結果

03 Zoom 視察結果 ④

視察先

福井県庁 県民協働課

視察目的

「恋愛及び結婚支援に関する連携協定」締結について

視察内容

- ① 連携協定について
 - ・ 協定締結した経緯
 - ・ タップルを選んだ理由
- ② 協定締結後について
 - ・ 協定締結後に苦勞したこと
 - ・ 最近の婚活の傾向・アドバイス

04

提案内容

04 提 案 内 容



現状と課題から読み解き、

こおりやま広域圏の“人口流出を防ぎ若者の移住・定住を促進”するには？



『対象を世代で分類し、ライフステージごとに働きかけ、また、こおりやま広域圏の住民向けと、転出者を含めた県外の住民向けにターゲットを分けた戦略が必要と考えます。』

04 提 案 内 容

【目標】 結婚の機運の醸成 及び こおりやま広域圏での移住・定住促進

1. 人生の航海図（ロードマップ）を描くライフデザイン支援事業
2. こおりやま広域圏で恋活イベント、移住婚ツアーを実施
3. マッチングアプリを活用した移住婚PR促進事業



04 提案内容



1. 人生の航海図（ロードマップ）を描くライフデザイン支援事業

- ・ 佐久間少年の「ライフデザインを描いた場合とない場合」の**人生**

- ライフデザインが無い＝「いつか」へ先延ばし & 人生の迷子

- ライフデザインが**ある**＝**目標から逆算**して「**今**」始めよう！



04 提案内容



1. 人生の航海図（ロードマップ）を描くライフデザイン支援事業

～ライフデザインを**描かない**場合～

- ・ 中高生.....将来の人生設計については考えにくく、現在の進路のみ考えてしまう。
- ・ 大学生.....人生設計の目標はあまり考えず、現在の進路を決めてしまう。
- ・ 20～30代...人生設計の目標もなく過ごし、結婚については後回しに考え、**いつか結婚したいと思いつつ何も行動しない。**
- ・ 50代.....**老後の生活が不安**になり、結婚に向けて行動するが適当なパートナーにめぐりあわず、**人生の迷子状態**になってしまう。

04 提 案 内 容

1. 人生の航海図（ロードマップ）を描くライフデザイン支援事業

～ライフデザインを**描いた**場合！！～

- ・ 中高生.....将来の人生設計を考えるきっかけとなり、**進路の選択肢が増える。**
- ・ 大学生.....人生設計に沿った**目標の進路を決めることができる。**
- ・ 20～30代...結婚を視野に入れ、**恋活・婚活の行動**をし人生のパートナーを見つける。
パートナーと結婚し、子どもに恵まれる。
- ・ 50代.....パートナーや子どもと一緒に**幸せな家庭生活を送る。**



04 提 案 内 容

2. こおりやま広域圏で恋活イベント・移住婚ツアーを実施

- ・ 広域圏内の観光地にスポットを当てた日帰り・単発の恋活イベント
 - 若手社会人の結婚に対する **ポジティブなイメージを醸成する。**
 - 同世代との交流の機会と、**結婚も含めたライフデザインを考える**
きっかけを提供する。

⇒ “ビックパレットクリスマスパーティー”

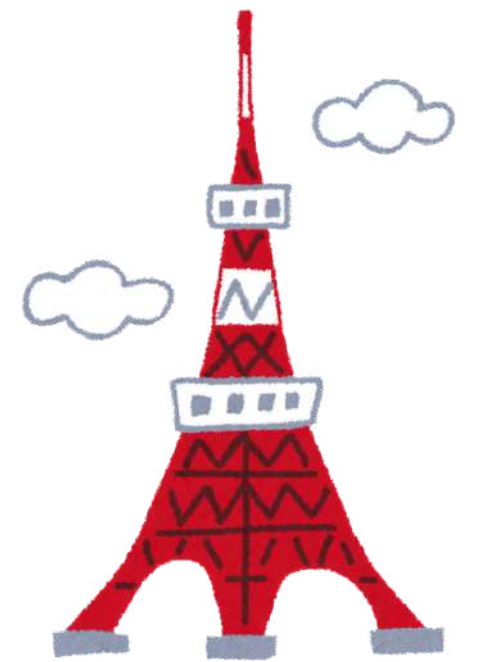
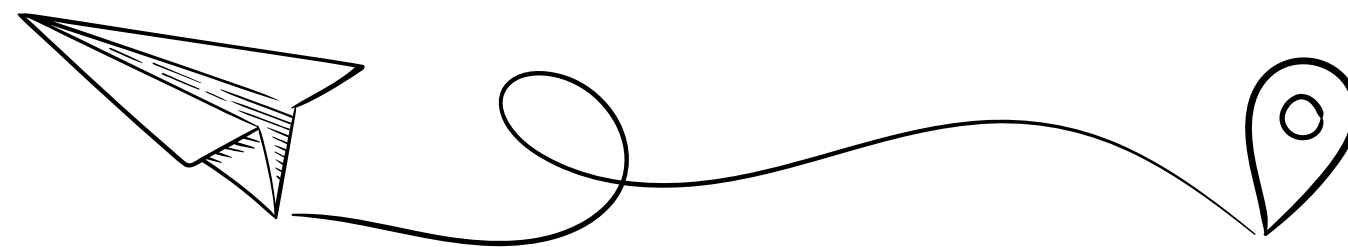
“グランピング婚in天神浜”



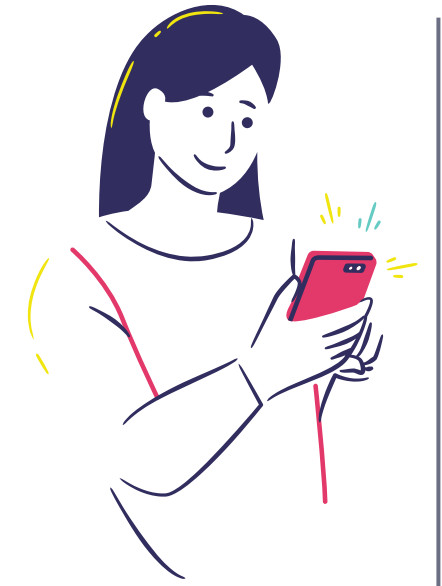
04 提 案 内 容

2. こおりやま広域圏で恋活イベント・移住婚ツアーを実施

- ・より具体的な移住を見据えて、住人に会えて話せる2泊3日の移住婚ツアー
 - 圏外転出者に広域圏に**再び興味を持ってもらう。**
 - 移住希望者が実際に広域圏へ足を運び、地域で暮らし住人と触れることで**思い描いていた生活とのギャップを埋める。**
- ⇒ 広域圏で実施している“移住体験ツアーに絡めた移住婚ツアー”



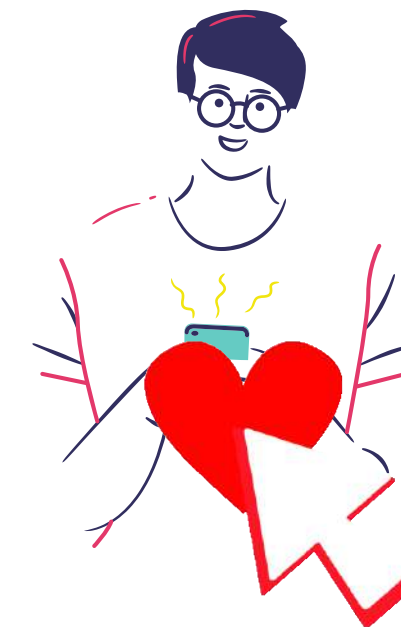
04 提 案 内 容



3. マッチングアプリを活用した移住婚PR促進事業

- ・大手マッチングアプリ企業と連携し、民間企業のPR力を借りて、圏外転出者や移住希望者をターゲットに恋活イベントや移住婚ツアーの周知を図る。

→マッチングアプリの出身地・居住地機能を活用し、**広域圏出身者や都市部居住者へ集中的にバナー広告を展開する。**



04 提 案 内 容



〈広域圏内住民向け〉

1. 中高生.....結婚機運の種蒔き期 「**広域圏でこう描こう**」

→ ライフデザインワークショップ 1 回目

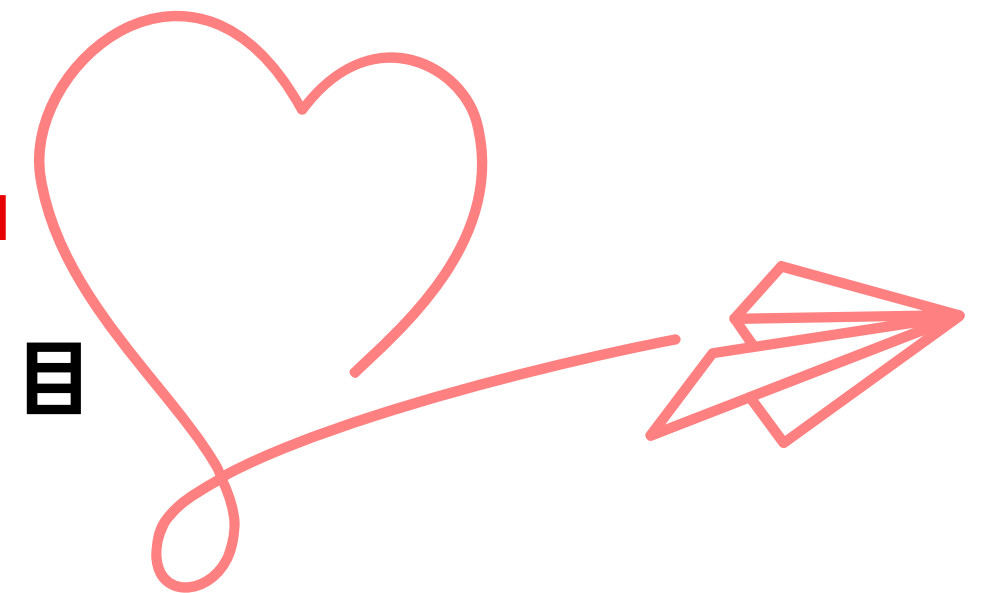
2. 大学生.....芽生え期 「**広域圏でこう子(し)体(たい)験**」

→ ワークライフインターン

3. 若手社会人.促進期 「**広域圏でK O I (恋)しよう**」

→ ライフデザインワークショップ 2 回目

→ 婚活ライト層向け恋活イベント



04 提 案 内 容

〈広域圏内住民向け〉

4.20～30代...結実・収穫期 「**広域圏**でこう生きよう」

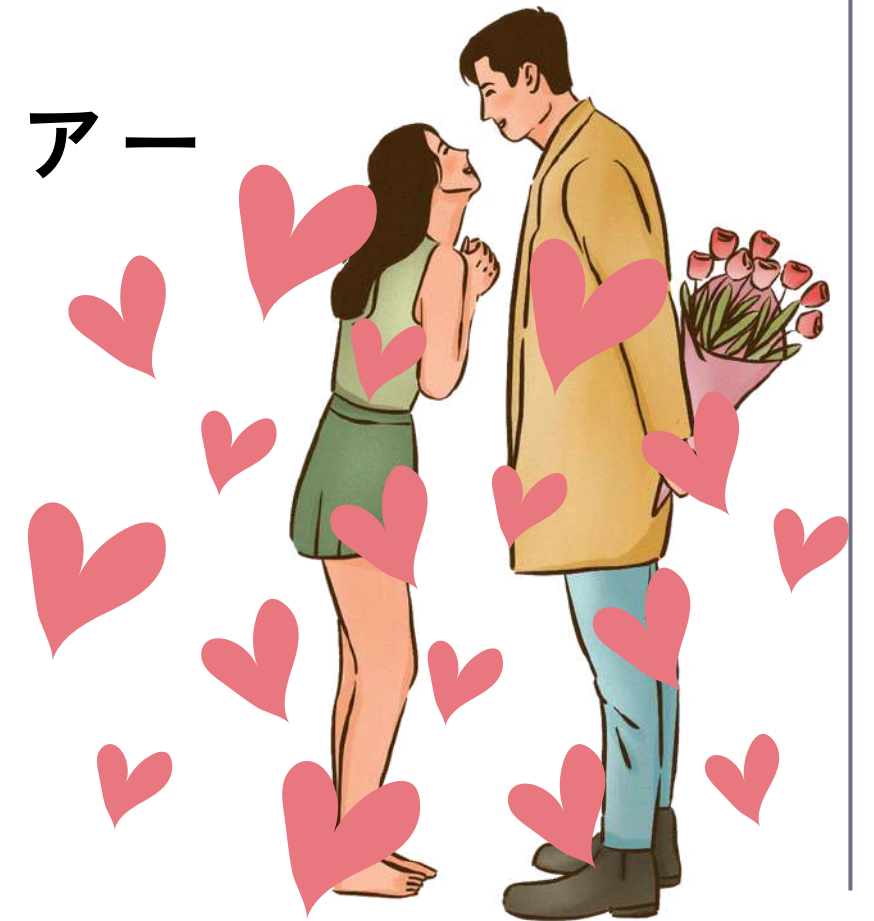
→ライフデザインワークショップ3回目

→婚活本気層向け婚活イベント・移住婚ツアー

〈圏外転出者及び移住希望者向け〉

5.恋活イベント/移住婚ツアー

6.マッチングアプリを活用した移住婚PR促進事業



04 提 案 内 容

【財源について】

- ・ 地域少子化対策重点推進交付金
- ・ 特別交付税



こどもまんなか
こども家庭庁

地域少子化対策重点推進交付金
令和7年度当初概算要求 10.0億円（令和6年度当初予算 10.0億円）

地域少子化対策重点推進事業（補助率：3/4、2/3、1/2）

自治体が行う以下の事業を支援

ライフデザイン・結婚支援 重点推進事業

補助率3/4

- ・自治体間連携を伴う取組
- ・若い世代の描くライフデザイン支援
- ・結婚支援事業者との官民連携型結婚支援
- ・AIを始めとするマッチングシステムの高度化・地域連携
- ・地域の結婚支援ボランティア・事業者等を活用した未来型結婚支援の充実

補助率2/3

- ・上記以外の事業



結婚支援 コンシェルジュ事業

補助率3/4

都道府県に、結婚支援の専門的な知見を持つ者をコンシェルジュとして配置し、自治体の結婚支援を技術面・情報面から支援するとともに、国・自治体・地域の連携を強化



結婚、妊娠・出産、子育てに温かい 社会づくり・気運醸成事業

補助率2/3

- ・自治体間連携を伴う取組
- ・地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成
- ・育児休業取得と家事・育児分担の促進
- ・子育てと仕事の両立と多様な働き方の促進
- ・ICT活用、官民連携等による結婚支援等の更なる推進のための調査研究

補助率1/2

- ・上記以外の事業



結婚新生活支援事業（補助率：2/3、1/2）

自治体が行う結婚新生活支援事業（結婚に伴う新生活を経済的に支援（家賃、引越費用等を補助）する取組）を支援

【対象世帯】 夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得500万円未満

【対象費用】 婚姻に伴う住宅取得費用、住宅リフォーム費用、住宅賃借費用、引越費用

【補助上限】 夫婦ともに29歳以下：60万円 夫婦ともに39歳以下（左記を除く）：30万円

- 都道府県主導型市町村連携コース（補助率：2/3）※左記以外は一般コース（補助率：1/2）

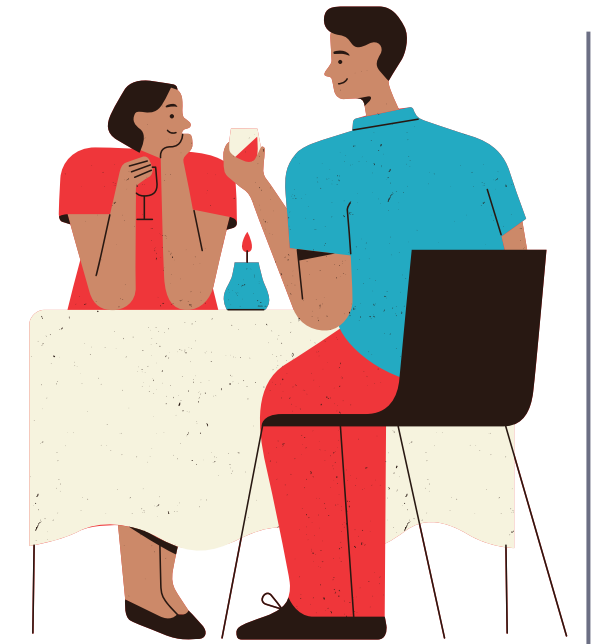
都道府県が主導し、管内市町村における取組の面的拡大を図りつつ、地域における切れ目ない結婚・子育て支援体制の構築を促進



04 提 案 内 容

他自治体の支援事業

- ・ 若者交際応援事業(秋田県横手市)
 - 市が対象とするマッチングアプリの利用料の半額を、3万円を上限に補助。
 - デートの際の交際費やテーマパークの利用料などを最大5万円補助。
- ・ 結婚支援パスポート(mari*pass「マリパス」)(新潟県)
 - 結婚を予定しているカップルや新婚夫婦、県の婚活マッチングシステム会員へスマートフォン等で表示するデジタル会員証を発行し、協賛企業の割引などのサービスが受けられる制度。



05

效果

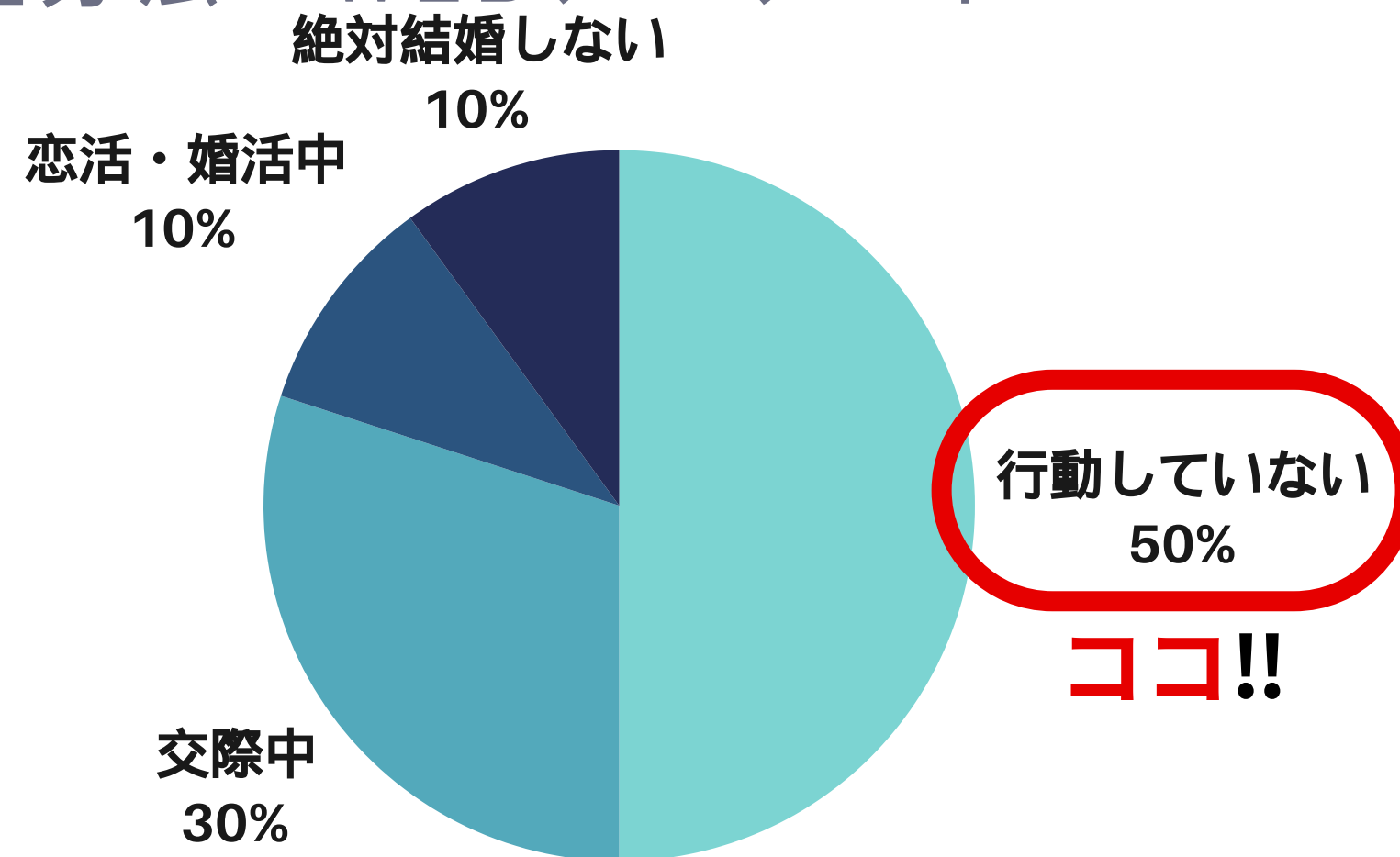
05 効果

人口UP！ 年収UP！ 活気溢れる広域圏へ！

令和6年度「若者のライフデザインや出会いに関する意識調査」

対象：15～39歳の未婚/既婚の男女一般生活者

調査方法：WEBアンケート

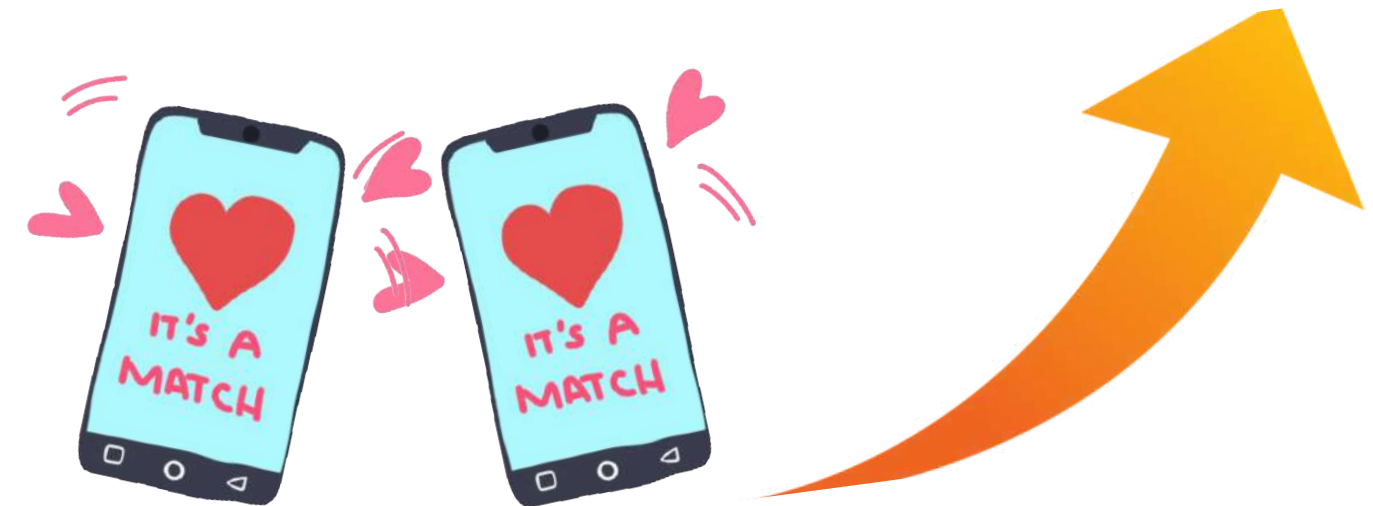


05 効果

人口UP！ 税収UP！ 活気溢れる広域圏へ！

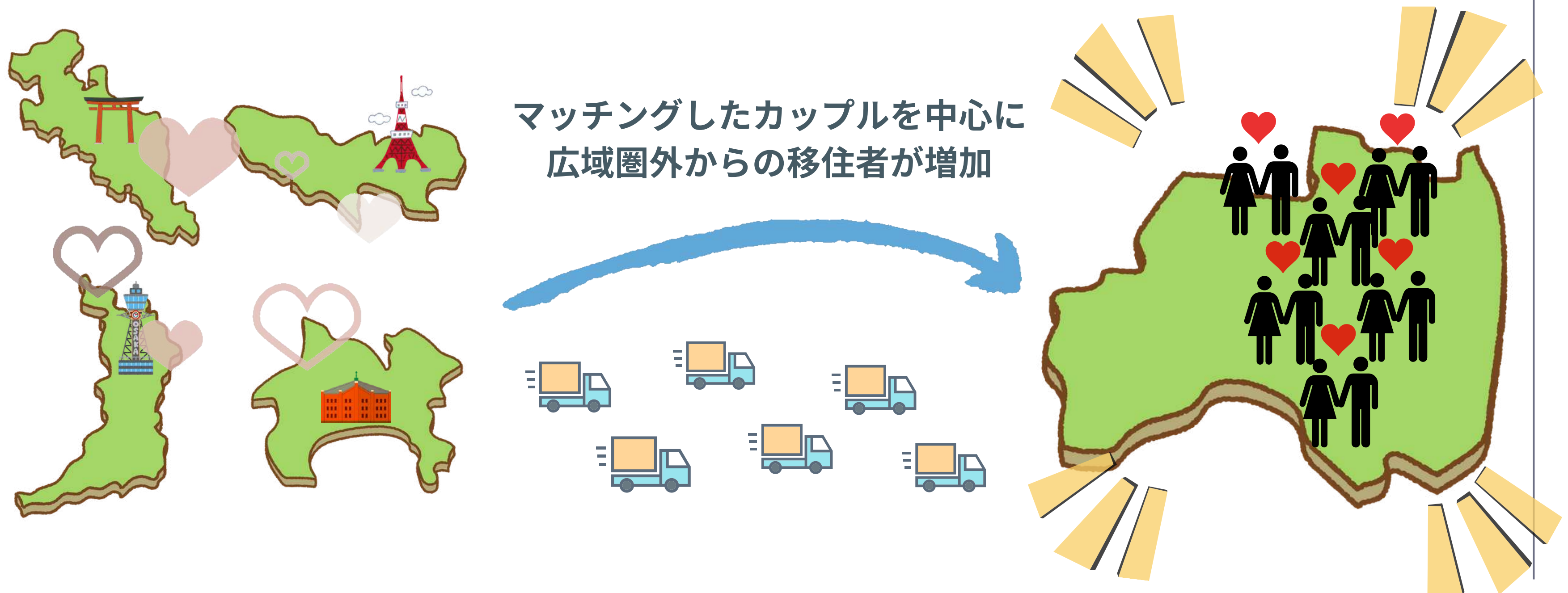


広域圏の各自治体による
手厚いサポートにより
福島県内及び大都市での
マッチング件数が増加



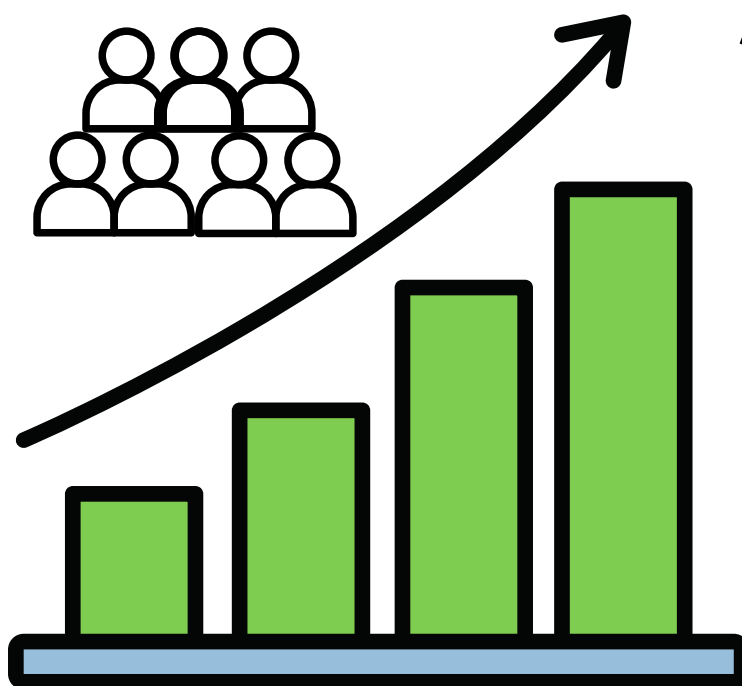
05 効果

人口UP！ 税収UP！ 活気溢れる広域圏へ！

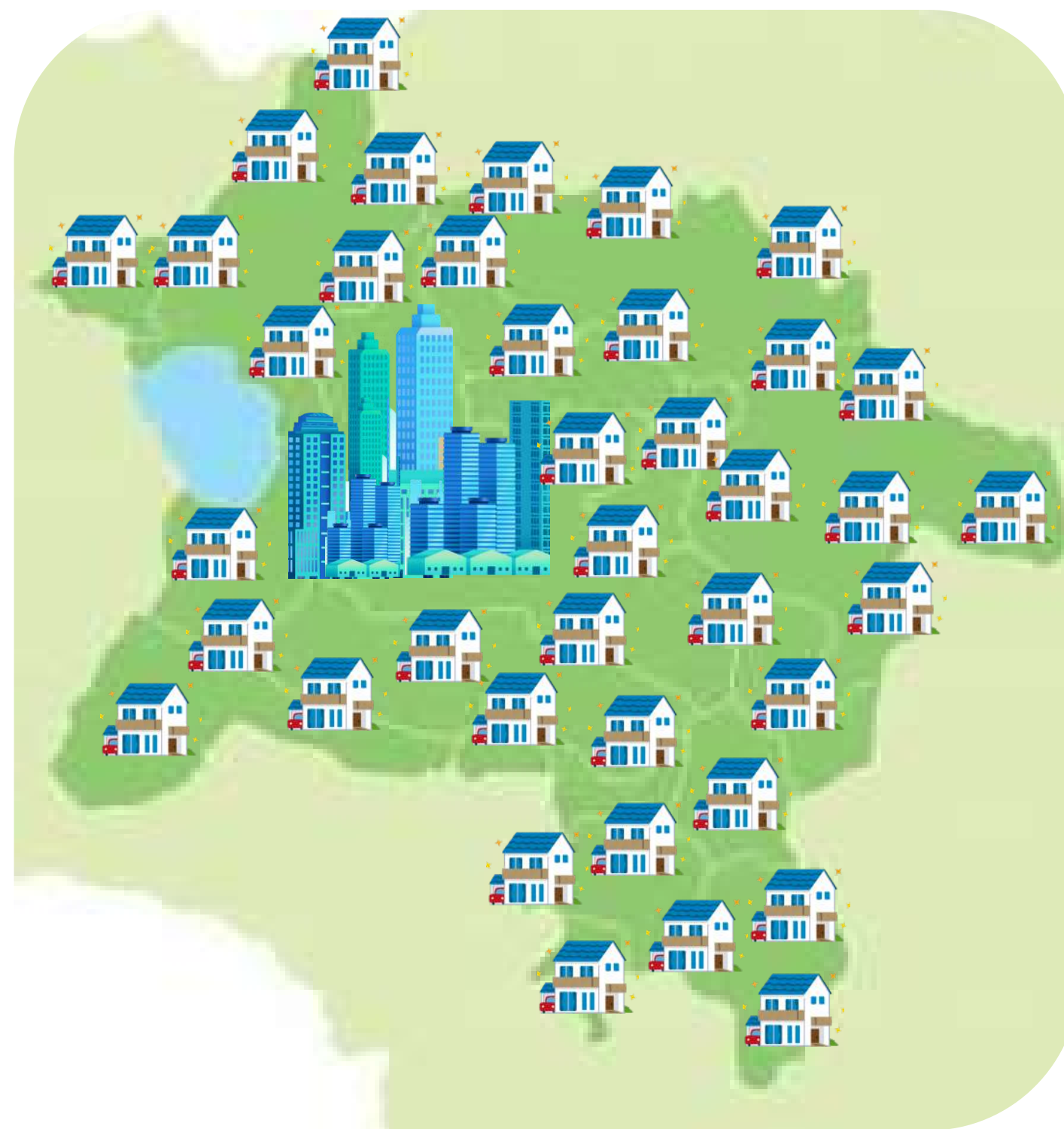


05 効果

人口UP！ 税収UP！ 活気溢れる広域圏へ！



更なる発展



SPECIAL ♡ THANKS



株式会社IBJ様



スリール株式会社様



京都府庁様

<ZOOM視察>

- ・ふくしま結婚子育て応援センター様
- ・福島県庁様
- ・秋田県大仙市様
- ・福井県庁様
- ・株式会社エウレカ様



THANK YOU

ご清聴ありがとうございました。

1 班